

## 次期総合計画「長期ビジョン」（中間案）及び「政策推進プラン（仮称）」 （素案）に係る意見聴取の実施結果

### 1 パブリック・コメント（地域説明会、パブリック・コメント期間内に意見聴取した各 部局所管の審議会等を含む）の実施状況

#### (1) 実施期間

平成30年9月18日（火）～10月22日（月）

#### (2) 実施状況

区 分	参加（提出） 数	意 見 数			備 考
		長期ビジョン	政策推進 プラン	計	
県民・団体・市町村からの御意見	91人・団体	87件	119件	206件	
地域説明会	299人 <sup>※1</sup>	96件	27件	123件	10/9～10/21、県内11カ所で計12回実施
審議会・委員会、出前説明会等	271人 <sup>※2</sup>	61件	88件	149件	期間内に開催した各部局所管の審議会・委員会、出前説明会で説明
計	661人・団体	244件	234件	478件	
素案策定時	454人・団体	419件	—	419件	パブコメ期間後の部局審議会等実施分を除く
「いわて県民計画」（案）策定時	564人・団体	102件	(3編のAP) 166件	268件	3編のAP：政策編・地域編・改革編

#### ※1 地域説明会の参加者数内訳

地 域	開催日	参加人数	地 域	開催日	参加人数
盛 岡	10/ 9（火）	38人	遠 野	10/10（水）	17人
	10/21（日）	9人	大船渡	10/15（月）	48人
奥 州	10/17（水）	17人	釜 石	10/10（水）	16人
花 巻	10/10（水）	24人	宮 古	10/12（金）	25人
一 関	10/16（火）	26人	久 慈	10/19（金）	23人
北 上	10/16（火）	16人	二 戸	10/11（木）	40人

#### ※2 各部局所管の審議会・委員会、出前説明会の参加者数内訳

審議会・委員会、出前説明会名	開催日	参加人数
総合教育会議	9/18（火）	5人
公益認定等審議会	9/20（木）	5人
わたし☆まちフォーラムinいわて2018 （岩手地域総合研究所主催）	9/22（土）	62人
県南広域圏副首長懇談会	10/5（金）	8人
わんぱく広場（於：久慈市）（いわて子ども支援センター主催）	10/7（日）	27人

審議会・委員会、出前説明会名	開催日	参加人数
若者活動支援チーム会議	10/10 (水)	9人
いわて女性の活躍促進連携会議	10/11 (木)	22人
胆江地区にこにこふれあい運動会 (障がい者施設、福祉会、社協、市、町、県南局等が構成員の実行委員会主催)	10/13 (土)	19人
わんぱく広場(於:大船渡市)(いわて子ども支援センター主催)	10/14 (日)	33人
ICT利活用推進計画策定有識者会議	10/17 (水)	7人
教育委員会定例会	10/19 (金)	5人
森林審議会	10/19 (金)	12人
子育てサポートセンターイベント リズムあそび (子育てサポートセンター主催)	10/22 (月)	22人
男女共同参画審議会	10/22 (月)	16人
環境審議会	10/22 (月)	19人

### (3) 御意見の項目別反映状況

#### ① 長期ビジョン

(単位:件)

項目	反映区分※3							計
	A 全部 反映	B 一部 反映	C 趣旨 同一	D アクション プラン 等に反映	E 対応 困難	F その他		
はじめに			1			2	3	
第1章「理念」		1	11	1		8	21	
第2章「岩手は今(現状認識・展望)」	1	1	3	12		3	20	
第3章「基本目標」			2			5	7	
第4章「復興推進の基本方向」			5			4	9	
第5章「政策推進の基本方向」	2		39	37		35	113	
第6章「新しい時代を切り拓くプロジェクト」	4	4	6			9	23	
第7章「地域振興の展開方向」	1	2	5	6		13	27	
第8章「行政経営の基本姿勢」			1				1	
その他			5	1		14	20	
計	8	8	78	57	0	93	244	

#### ※3 各反映区分の内容

区分	内容
A (全部反映)	意見の内容の全部を反映し、長期ビジョンを修正したもの
B (一部反映)	意見の内容の一部を反映し、長期ビジョンを修正したもの
C (趣旨同一)	意見と長期ビジョンの趣旨が同一であると考えられるもの
D (アクションプラン等に反映)	長期ビジョンを修正しないが、アクションプランに反映したものや、アクションプランの推進に当たって参考とするもの
E (対応困難)	A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの
F (その他)	その他のもの(次期総合計画全般、長期ビジョンに関する質問への回答等)

② 政策推進プラン（仮称）

（単位：件）

項目	反映区分※4							計
		A 全部 反映	B 一部 反映	C 趣旨 同一	D アクシ ョン プラン 等の推 進の参 考	E 対応 困難	F その 他	
I 健康・余暇				13	12		1	26
II 家族・子育て		1	1	17	25		2	46
III 教育				3	4		6	13
IV 居住環境・コミュニティ		1		14	11		5	31
V 安全				1	2		1	4
VI 仕事・収入		3	5	13	11		12	44
VII 歴史・文化							3	3
VIII 自然環境		4	2	1	5		3	15
IX 社会基盤		2	1	3	7		2	15
X 参画		1	1	4	1		2	9
その他		3		12	2		11	28
計		15	10	81	80	0	48	234

※4 各反映区分の内容

区 分	内 容
A（全部反映）	意見の内容の全部を反映し、政策推進プランを修正したもの
B（一部反映）	意見の内容の一部を反映し、政策推進プランを修正したもの
C（趣旨同一）	意見と政策推進プランの趣旨が同一であると考えられるもの
D（アクションプラン等の推進の参考）	政策推進プランを修正しないが、政策推進プランの推進に当たって参考とするもの
E（対応困難）	A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの
F（その他）	その他のもの（政策推進プランに関する質問への回答等）

2 パブリック・コメント期間前後に意見聴取した/する各部局所管の審議会等の実施状況

(1) 実施状況

参加数計	意 見 数		
	長期ビジョン	政策推進プラン	計
360人※5	82件	37件	119件

※5 各部局所管の審議会・委員会、出前説明会の参加者数内訳

審議会・委員会、出前説明会名	開催日	参加人数
社会貢献活動支援審議会	9/12（水）	9人
高齢者福祉・介護保険推進協議会	9/12（水）	16人
けんせつ小町部会職場見学会	9/13（木）	50人
開発審査会	9/13（木）	6人
建設業における地域課題等に関する意見交換会（電業協会）	9/14（金）	6人
岩手大学男女共同参画推進のための学習と交流の会（岩手大学主催）	9/14（金）	26人

審議会・委員会、出前説明会名	開催日	参加人数
農政審議会	10/23 (火)	17人
国際交流協会企画推進専門委員会	10/23 (火)	7人
東日本大震災津波復興委員会総合企画専門委員会	10/24 (水)	8人
県南広域振興圏地域協働委員会議	10/25 (木)	7人
女性の就業促進部会	10/25 (木)	4人
農山漁村で輝く女性部会	10/25 (木)	10人
東日本大震災津波復興委員会女性参画推進専門委員会	10/26 (金)	9人
地域公共交通活性化協議会	10/29 (月)	26人
水産審議会	10/30 (火)	15人
建設業における地域課題等に関する意見交換会 (空調衛生工事業協会)	10/30 (火)	9人
商工観光審議会	10/30 (火)	10人
国土強靱化地域計画推進アドバイザー会議	10/31 (水)	5人
医療審議会	11/1 (木)	22人
中山間地域等直接支払制度推進委員会	11/1 (木)	7人
消費生活審議会	11/2 (金)	13人
東日本大震災津波復興委員会	11/6 (火)	22人
経営者懇談会 (岩手県経営者協会主催)	11/7 (水)	45人
中小企業振興基本計画外部委員会	11/9 (金)	11人

## (2) 御意見の項目別反映状況

### ① 長期ビジョン

(単位：件)

項目	反映区分※3	A	B	C	D	E	F	計
		全部 反映	一部 反映	趣旨 同一	アクション プラン 等に反映	対応 困難	その 他	
はじめに								0
第1章「理念」				6	2			8
第2章「岩手は今（現状認識・ 展望）」				1	5		2	8
第3章「基本目標」				2				2
第4章「復興推進の基本方向」		1	1	5	1			8
第5章「政策推進の基本方向」		2	1	15	4		8	30
第6章「新しい時代を切り拓 くプロジェクト」		3	1	4			6	14
第7章「地域振興の展開方向」				1				1
第8章「行政経営の基本姿勢」								0
その他				8	1		2	11
計		6	3	42	13	0	18	82

## ② 政策推進プラン（仮称）

（単位：件）

項目	反映区分※4	A 全部 反映	B 一部 反映	C 趣旨 同一	D アクシヨ ンプラン 等の推進 の参考	E 対応 困難	F その 他	計
I 健康・余暇				1				1
II 家族・子育て				1				1
III 教育					1		1	2
IV 居住環境・コミュニティ		1		2	2			5
V 安全								0
VI 仕事・収入			4	3	10		2	19
VII 歴史・文化								0
VIII 自然環境								0
IX 社会基盤				2	1		1	4
X 参画		1		1	1		1	4
その他				1				1
計		2	4	11	15	0	5	37

## 主な御意見（抜粋）

### 《長期ビジョン》

反映区分	主な御意見（抜粋）
A (全部反映)	<u>総合計画審議会及び県議会から出された意見に対する反映分も含めた主な変更内容（案）は、「資料4」のとおり。</u>
B (一部反映)	
C (趣旨同一)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画の理念に「幸福」や「つながり」を据えていることに賛同する。物質的だけでなく、こころの豊かさも大切にするという視点、また、周りの人々との助け合いを大事にする社会を実現するという視点は、教育の根幹とも共通するので、強力に進めてほしい。</li> <li>○ 地域の究極の目的は幸福であり、岩手県が宮沢賢治の精神を取り入れてより良いものなることを期待したい。</li> <li>○ 「社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の観点に立った取組の推進」が掲げられていることは、日常生活で多重な困難を抱え、社会的に孤立していく方々の問題の解決に向け奮闘する多くの方々に勇気を与えるという意味でも、大きな意義を持っている。</li> <li>○ 若者や女性の「参画」が明記された点は重要である。また、社会的包摂の実現に当たっては、NPOの役割は大きく、計画に明記されることが重要である。</li> <li>○ これからの10年は、人生100年時代を迎え、「長寿」という視点に基づいた対応が重要となる。</li> <li>○ 子どもたちがどの学校に進学したかではなく、この学校に来て良かったと誇りを持ち、夢を持てることが重要であり、そのためには、計画においても大きく取り上げられているが、先頭に立つ教員の質の向上を図る必要があるので、是非、お願いしたい。</li> </ul>
D (アクションプラン等に反映)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所得を向上させる取組をもっと進めなければ人口流出に歯止めがかからないので、そのような具体的施策を重点的に進めてほしい。</li> <li>○ 東芝関連などをはじめとした県南地域の産業発展に比べて、他のエリアでは産業格差が生じてきているので、格差改善に向けた具体的取組が必要ではないか。</li> <li>○ 農林業の取組について、岩手県は中山間地域がほとんどであるので、耕作放棄地の対策や担い手確保など、中山間地域の具体的な農林業振興施策を進めてほしい。</li> <li>○ 全国的に有名な品種「冬恋」を開発した農家のように、規模は小さくなくても優れた技術を持つ経営体がある一方、その優れた技術を継承する後継者が不足しているという状況がある。地域の特産である果樹などが発展していけるような具体的支援が必要ではないか。</li> <li>○ 復興道路の整備とともに、三陸鉄道も一貫経営がはじまるなど、影響の大きな社会インフラが整備されるので、それらを活用した具体的な産業振興施策を記載してほしい。</li> </ul>
E (対応困難)	—

F (その他)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 政策分野に「参画」を新たに加えた狙い、意図は何か。</li> <li>○ 「仕事・収入」分野について、従前であれば「雇用・所得」といった表現になるものと思うが、新しい価値観は盛り込まれているのか。</li> <li>○ 政策の柱に「参画」が追加されているが、計画策定過程において、女性の考えをどのように反映してきたのか。</li> <li>○ 少子化対策と「新しい時代を切り拓くプロジェクト」は、どのように関連しているのか。</li> <li>○ 計画を実行性のあるものとしていくため、P D C Aサイクルをどのようにして回していくのか。また、その結果について、地域への周知、フィードバックはどのように行っていくのか。</li> </ul>
------------	--

《政策推進プラン（仮称）》

反映区分	主な御意見（抜粋）
A (全部反映)	<p><u>総合計画審議会及び県議会から出された意見に対する反映分も含めた主な変更内容（案）は、「資料7」のとおり。</u></p>
B (一部反映)	
C (趣旨同一)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仕事量は増えているが、人数は減っているため、人材確保に加え、働き方改革も進めていくことが重要である。</li> <li>○ 徐々に表面化してきている「ダブルケア」問題にいち早く気付き、計画の中に明示されたことは、全国的に見ても、先進的な取組であると感じる。</li> <li>○ 障がい者に対する社会の認識は、関係者とそうでない人とのギャップが大きいと感じるため、お互いに理解し、歩みよることができるよう理解促進に努めていくことが重要である。</li> <li>○ L G B Tについて計画に明示されていて良い。L G B Tに限らず、一般とは少し違うと思われる人たちを排除するのではなく、お互いに理解を深め、共に「参画」していくことがとても重要である。</li> </ul>
D (アクションプラン等の推進の参考)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育てに困った時にここを見れば必要な情報が入手できるというような、子どもに関係する保育、遊び、医療等の情報がまとまって提供される仕組みがあると、子育てがしやすくなるのではないか。</li> <li>○ 地域の防災組織は一部の住民だけではなく、広く多くの住民が参加しやすいということが重要になるので、特に、若者が参加しやすい環境をつくるべき。</li> <li>○ 特産品などの農山漁村ビジネスの情報を、SNSなどを使って積極的に発信していくべき。</li> <li>○ スマート農業等のICT等を活用した取組の推進について、莫大な経費もかかるので、投資できる経営体には良いが、その他が諦めてしまわないような支援が必要である。</li> </ul>
E (対応困難)	—

<p>F (その他)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主観的指標と客観的指標の関連性をどう評価していくのか。双方の評価にギャップがあった場合、どう対応していくのか。</li> <li>○ 主観的指標として、県民意識調査で毎年度県民がどの程度幸福を実感しているのかを把握していくとあるが、調査結果を翌年度の施策に反映するのか、調査・把握をして終わりなのか。</li> <li>○ 太陽光発電が盛んだが、太陽光パネルには有害物質が含まれていて、パネルの耐用期間が過ぎた後の廃棄物処理について、県はどのような対応をする方向性なのか。</li> <li>○ 文化芸術・スポーツは、どの地域でも同じような取組が行われていそうだが、どのような取組で、他の地域と差をつけていこうとしているのか。</li> </ul>
--------------------	---